

令和3年度補正予算(案)の概要

科学技術・学術政策局
産業連携・地域振興課

背景・課題

- ◆ ポストコロナの社会変革において、新たな価値創造の中心となるべきは意欲ある才能の挑戦であり、大学等発の研究成果を社会に実装する**スタートアップは、ポストコロナの未来をつくる駆動力**。
- ◆ **大学等発の新たな産業創出に向け**、大学等から生まれる優れた研究成果の社会実装を強力に支援し、地方を含めた**民間研究開発投資を誘引**しつつ、イノベーションの担い手である**スタートアップ創出等に向けた集中支援**が必須。

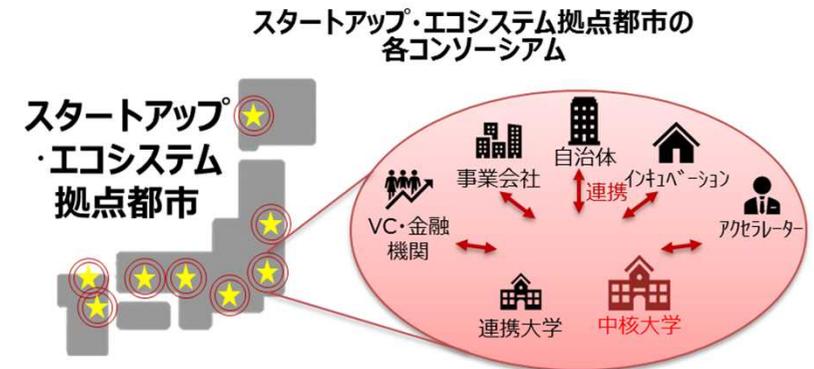
事業内容

- ▶ 新たなビジネス・産業の創出に向け、産学官の力を結集させたスタートアップ・エコシステム拠点都市における**大学等のスタートアップ創出に向けた総合的な環境整備**や、ポストコロナの社会における課題解決や新たな価値創造に繋がる**大学等発の研究成果の実用化を目指すスタートアップ支援**を通じて、研究成果の社会実装を加速。
- ▶ ポストコロナの未来を先導すべく、**令和3年度中からスタートアップ創出につながる機能の強化**を実施。

I. スタートアップ・エコシステム拠点都市におけるスタートアップ創出機能強化のための支援 (2.7億円×8拠点程度) 【大学発新産業創出プログラム(START)の一部として実施】

内閣府・文部科学省・経済産業省の3府省で選定したスタートアップ・エコシステム拠点都市において、ギャップファンドプログラムの充実などの事業化に向けた活動支援やそのための活動の場の整備等、大学等における**スタートアップ創出機能を強化**。

- ・ グローバル拠点都市等におけるギャップファンドプログラム構築・運営、Demo Day開催、活動の場の整備（機械学習用PC、遠隔操作対応3Dプリンタ、オンライン環境等）等を支援。



II. 大学等発の研究成果の実用化を目指すスタートアップ支援 (出資金25億円)

【出資型新事業創出支援プログラム(SUCCESS)への追加出資】※政府出資金25億円（平成24年度補正予算）
科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律に基づき、JSTの研究成果を事業活動において活用しようとする者（**大学等発スタートアップ**）**に対し、JSTが金銭出資等を実施**。

- ・ JSTから、JSTの研究成果の実用化を目指し、設立から概ね5年以内のスタートアップに対して出資し、ハンズオン支援を実施。

